

## サークルやグループへの支援

### 1. ボランティアに取り組むサークルやグループへの支援

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をおこなっているサークルやグループへの支援に取り組んでいるが、本稿では今年度新たに整備された事柄を中心に報告したい。第一に、学生の活動を財政的に支援する「ボランティア学生チャレンジ賞」が始動した<sup>1)</sup>。第二に、大学から「公認団体」格を付与されていない団体への支援として、未公認団体への看板等の備品の貸し出しがはじまった。これをうけて「ハビタット MGU」によるキルギスなどでの家の建築活動の報告会や、「エコキャンパスミーティング」による「リサイクル市」の広報などに活用されている。以上が、今年度新たに整備された事柄だが、下の【表1】に現在のボランティアセンターによる支援内容をまとめた。様々な目的や活動に取り組む学生たちに対して、どのように支援していくのか、センターと学生団体の適度な距離感はどこだろうか、などの課題はあるが、学生たちの思いが結実し、社会で生きる活動となるよう支援のあり方を探っていきたいと考えている。

【表1】 ボランティアセンターによるサークルへの支援

| 項目                              | 内容  |
|---------------------------------|---|
| ボランティアファンド学生チャレンジ賞              | 学生が企画する環境ボランティアへの助成金                      |
| ボランティア系サークル合同説明会（学生スタッフ主催）      | 4月にボランティア系サークルが新入生向けに活動紹介をおこなう説明会の開催      |
| ボランティアセンターによる学生企画の協力<br>※【表2】参照 | 学生団体が主催する行事などの活動について、広報や会場提供などのついて協力をおこなう |
| ボラセンギャラリー                       | 横浜校舎ボランティアセンターの壁面を展示スペースとして貸し出し           |
| 学生が発信するボランティア情報掲示板              | 学生がボランティアにかかわる情報を自由に発信できる掲示スペースの提供        |
| 備品や設備利用に関する支援                   | 未公認のボランティア団体へ大学設備や立て看板等の備品の貸し出し           |

### 2. ボランティアセンターによる協力事業

ボランティアセンターでは、学生団体が主催している活動の充実のために、広報や設備利用の支援などの協力をおこなっている。今年度は、2005年の新潟ボランティア参加学生有志による「新潟 Cheer Up ↑↑コンサート」や国際協力系サークル3団体が共催した学生シンポジウム「未来への座標軸～ボランティアと学生の役割」、及び本学生がメンバーに加わっているイベント「『人』と『人』とが繋がる空間『人=人』」など5企画への協力をおこなった。

### 3. サークル・グループの特技をボランティアに生かす

本学には音楽やダンス、スポーツなど、様々な分野のサークルやグループがある。彼らの特技を生かしたボランティアを通して、社会参画へのきっかけとしてほしい、また日頃学生が訪れる機会の少ない地域の施設を訪問して活動することで、学生と活動先の双方が刺激を得て、社会の活性化と学生の成長につながればという期待をもち、ボランティアセンターではボランティアをしたい学生と受け入れを希望する団体のマッチングをおこなっている。活動を希望する学生サークルやグループは、活動内容や希

望する日程などを記入して、ボランティアセンターに登録及び申し込みをおこなう。また、ボランティアを希望する団体は「団体登録<sup>2</sup>」の手続き後、申し込みをしていただく。学生の活動はホームページに掲載し、随時ボランティアを希望する団体が閲覧できるように情報提供している。今年度は9つの学生サークルが登録をおこない、14の団体からの依頼があり、マッチングに取り組んだ結果、7つのサークルやグループが9つの活動を実現させることができた(【表3参照】)。活動後には「フィードバックシート」を提出してもらい、活動の様子を知る手がかりとしている。活動をおこなった学生からは「このボランティアがきっかけとなり個人でもボランティアを始めた」という例や、「手話サークルぽっけ」が「子どもたちに手話の楽しさを伝える活動に関心を持つようになった」などの報告があり、活動の幅が広がる契機として効果があったといえる。また受け入れた団体にとっても、「デイサービスで管弦楽団が演奏をおこなったことにより、高齢者と地域の親子の交流が進んだ」などの声をいただき、双方により影響をもたらすことができている。一方課題もある。活動中に子どもにぶつかって怪我を負わせてしまったり、学生が持参した楽器を子どもが触って壊してしまったりという事故がおこっており、安全性を上げる対策が必要となっている。また、ボランティアの依頼に対してマッチングを成立させることができなかったケースもあり、活動の時期をずらすなどの工夫をすることで、コーディネート能力をあげていきたい。今後は、現在活動しているサークルが継続して取り組めるようなサポートをおこなうこと、活動するサークルの新規開拓をおこなうこと、友人同士がグループでボランティアをおこなう機会の提供など、さらなるコーディネートに取り組んでいきたい。(糸井)

【表3】サークル・グループによるボランティアの実施状況 一覧

| 活動先                | 活動地     | サークル・グループ        | 活動内容   | 活動日       |
|--------------------|---------|------------------|--|-----------|
| 川上小学校はまっ子スクール      | 横浜市戸塚区  | カポエイラ            | 小学校の放課後活動で、カポエイラパフォーマンスと体験。                  | 6月6日      |
| 上矢部地域ケアプラザ         | 横浜市戸塚区  | 管弦楽団             | デイサービスのリクリエーション活動で室内楽の演奏。                    | 6月9日      |
| 鎌倉養護学校             | 鎌倉市     | TAPS (バスケット)     | 養護学校のバスケットボール部生徒たちのバスケット練習相手と指導。             | 8月など      |
| かながわボランティアセンター     | 横浜市泉区など | シネマ研究会           | 外国につながる青少年の成育過程や困難事例、支援機関による援助等の体験の語りを録画、編集。 | 8月・9月     |
| 倉田コミュニティハウス        | 横浜市戸塚区  | 落語研究会            | 敬老の日企画として、地域の人に落語を親しむ。                       | 9月17日     |
| 倉田小学校はまっ子スクール      | 横浜市戸塚区  | カポエイラ            | 小学校の放課後活動のクリスマス企画として、カポエイラのパフォーマンスと体験。       | 12月19日    |
| パークコリーナ・ジュニア(子ども会) | 横浜市港南区  | 落語研究会            | クリスマス会で落語の面白さを小学生に伝える。                       | 12月21日    |
| 施設社会研究会(本学サークル)    | 東京都葛飾区  | 手話サークルぽっけ        | 青砥児童館のクリスマス会で手話歌の披露と体験。                      | 12月22日    |
| グランフォーレ戸塚ヒルブリーズ自治会 | 横浜市戸塚区  | スカーレッツ(チャリーディング) | 自治会の「桜まつり」でのチャリーディングのパフォーマンス                 | 3月30日(予定) |

<sup>1</sup>詳しくは本書「I. 2007年度活動報告 明学グッズ・ボランティアファンド/学生チャレンジ賞」を参照。

<sup>2</sup>詳しくは本書「I. 2007年度活動報告 ボランティア募集団体への取り組み」および「ボランティアセンター報告書 第3号(2006)」を参照。